

北海道歯科保健医療推進計画（素案）のポイント

具体の施策	ポイント									
<p>■ 歯科保健医療の推進</p> <p>(1) むし歯の予防</p> <p>① <u>保育所・小学校等におけるフッ化物洗口</u>の推進</p> <p>② 乳幼児・児童生徒が定期的に歯科健診・保健指導を受ける機会の確保</p> <p>③ 幼児期におけるフッ化物利用（フッ化物塗布、フッ化物配合歯磨材）の普及</p> <p style="text-align: right;">（P 7～12）</p>	<p>○ <u>永久歯のむし歯予防として有効なフッ化物洗口の推進。</u></p> <p>○ 乳幼児歯科健診等の母子歯科保健事業の従事者に対する資質の向上の推進。</p> <p>○ 乳歯のむし歯予防として有効なフッ化物塗布の推進及びフッ化物配合歯磨剤の適切な利用にかかる普及。</p> <p><令和17年度の成果目標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 25%;">現行</th> <th style="width: 25%;">素案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>むし歯のない12歳児の増加</td> <td style="text-align: center;">60.3%</td> <td style="text-align: center;">90.0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現行	素案	むし歯のない12歳児の増加	60.3%	90.0%			
項目	現行	素案								
むし歯のない12歳児の増加	60.3%	90.0%								
<p>(2) 歯周病の予防</p> <p>① <u>定期的な歯科健診・適切な保健指導を受ける機会の確保</u></p> <p>② 歯周病と糖尿病、喫煙、全身疾患に関わる医科歯科連携の推進</p> <p>③ かかりつけ歯科医による定期検診とプロフェッショナルケアの推進</p> <p style="text-align: right;">（P 12～16）</p>	<p>○ <u>事業所における歯科健康診査の促進や道民に対する歯・口腔の疾患と全身の関連性等に関する普及啓発。</u></p> <p>○ 糖尿病等の全身疾患に関わる医科歯科連携の推進。</p> <p>○ 道民及び地域保健の関係者に対して、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科受診することの重要性を普及啓発。</p> <p><令和17年度の成果目標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 25%;">現行</th> <th style="width: 25%;">素案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20～30歳代で歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少</td> <td style="text-align: center;">20.3%</td> <td style="text-align: center;">15.0%以下</td> </tr> <tr> <td>過去1年間に歯科健診を受診した人の割合（20歳以上）</td> <td style="text-align: center;">41.0%</td> <td style="text-align: center;">70.0%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現行	素案	20～30歳代で歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	20.3%	15.0%以下	過去1年間に歯科健診を受診した人の割合（20歳以上）	41.0%	70.0%以上
項目	現行	素案								
20～30歳代で歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	20.3%	15.0%以下								
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合（20歳以上）	41.0%	70.0%以上								
<p>(3) 高齢期の歯科保健医療の推進</p> <p>① <u>高齢者の口腔機能の維持・向上の推進</u></p> <p>② 医療・介護等の関連領域・関係職種間連携の推進</p> <p style="text-align: right;">（P 17～21）</p>	<p>○ <u>オーラルフレイル（※）を予防するため、高齢者の適切な歯科治療や定期的な歯科健診の受診促進、介護予防に取り組むよう普及啓発。</u></p> <p style="font-size: small;">※「オーラルフレイル」 老化に伴う様々な口腔の状態（歯数・口腔衛生・口腔機能など）の変化に、口腔の健康への関心の低下や心身の予備能力低下も重なり、口腔の脆弱性が増加し、食べる機能障害へ陥り、さらにはフレイルに影響を与え、心身の機能低下にまでつながる一連の現象および過程</p> <p>○ 歯科医療従事者が多職種と連携し、口腔の観点からの食支援や専門的助言等をできるよう資質向上を推進。</p> <p><令和17年度の成果目標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 25%;">現行</th> <th style="width: 25%;">素案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80歳で20本以上の歯を有する人の割合</td> <td style="text-align: center;">46.5%</td> <td style="text-align: center;">75.0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現行	素案	80歳で20本以上の歯を有する人の割合	46.5%	75.0%			
項目	現行	素案								
80歳で20本以上の歯を有する人の割合	46.5%	75.0%								
<p>(4) 障がい者（児）、要介護者への歯科保健医療の推進</p> <p>① 障がい者歯科医療協力医・協力歯科衛生士の確保と歯科保健医療ネットワークの充実</p> <p>② 入院患者や在宅療養者等に対する医科歯科連携等の推進</p> <p style="text-align: right;">（P 21～25）</p>	<p>○ 障がい者歯科医療協力医・協力歯科衛生士養成のための実地研修等を実施し、協力医・協力歯科衛生士の確保と資質向上を推進。</p> <p><令和17年度の成果目標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 25%;">現行</th> <th style="width: 25%;">素案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道障がい者歯科医療協力医・協力歯科衛生士のいる市町村数</td> <td style="text-align: center;">75市町村</td> <td style="text-align: center;">90市町村</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現行	素案	北海道障がい者歯科医療協力医・協力歯科衛生士のいる市町村数	75市町村	90市町村			
項目	現行	素案								
北海道障がい者歯科医療協力医・協力歯科衛生士のいる市町村数	75市町村	90市町村								